

MIYAMOTO Saburo: Interiors—Figures and Still Lives

宮本三郎 部屋のなかで

—人物と静物をめぐって

2025年 4月1日[火] —→ 9月7日[日]

開館時間 | 10:00 ~ 18:00 (入館は17:30まで)

休館日 | 毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館) ※5月5日(月・祝)、5月6日(火・振休)、7月21日(月・祝)、8月11日(月・祝)は開館、5月7日(水)、7月22日(火)、8月12日(火)は休館

観覧料 | 一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上/中小生100円(80円)

※障害者の方は100円(80円)、ただし小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。証明書をご提示のうえ、お申し出ください。 ※()内は20名以上の団体料金 ※世田谷区内在住・在学の小・中学生は土、日、祝・休日、夏休み期間は無料

《題不詳(編み物)》1945-48年頃

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

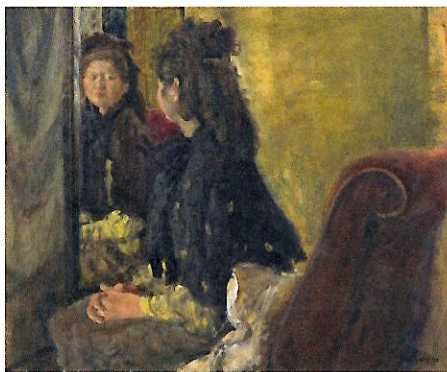
〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13

TEL.03-5483-3836

<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>



《赤い背景》1938年



《鏡の前の婦人像》1945-48年頃



《ベッドに横たわる婦人像》1938-39年頃

宮本三郎 部屋のなかで——人物と静物をめぐって

洋画家・宮本三郎（1905-1974）が、生涯にわたって制作活動の中心に据えたのは、人物を主題とする作品でした。なかでも室内画における人物表現に注目すれば、アンリ・マティスの影響が色濃い装飾的な構成をベースに、それと拮抗するような「人」の存在感が、独特の緊張感を画面に生み出していることに気がつきます。

奥沢の自宅アトリエで、プロの絵画モデルを前にデッサンを重ね、丹念に練り上げた作品の数々や、疎開先の故郷・石川県で家族や身近な人物を描いた親密な雰囲気漂う室内風景——それぞれ時代ごとに表情を異にしながらも、宮本が注力した人物画に通底するのは、主題に注がれる鋭い観察眼です。本展では、室内表現やそれらを彩る小道具としてのモチーフにも注目しながら、宮本が描きだす人体と人物の魅力を探ります。

人物表現においてことさら評価されることの多い宮本の描写力は、一方で静物画にも発揮されています。テーブルに置かれた花器や果物、皿に盛られた魚介——それぞれ対象の本質をつかみ取るようにして描かれた静物画の数々も、あわせてお楽しみください。



《化粧室の裸婦》1965年



《魚》1957-58年頃



《静物・果物》1945-48年頃



《西瓜》制作年不詳

MIYAMOTO Saburo: Interiors—Figures and Still Lives

※（ ）は題不詳のため仮題

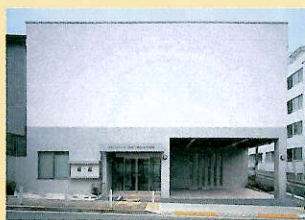
世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13
TEL. 03-5483-3836 <http://www.miyamosaburo-annex.jp/>

〔交通案内〕

◎電車…東急東横線・大井町線「自由が丘」駅より徒歩7分／東急大井町線「九品仏」駅より徒歩8分／東急目黒線「奥沢」駅より徒歩8分 ◎バス…東急バス（渋11）田園調布駅～渋谷駅「奥沢六丁目」下車徒歩1分／東急バス（園01）田園調布駅～千歳船橋駅「浄水場前」下車徒歩10分



© 宮本和義

世田谷美術館分館

向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1
TEL. 03-5450-9581
<http://www.mukaijunkiichi-annex.jp/>



撮影：上野利宏

京都と武蔵野——向井潤吉が描いたふたつの風景
2025年4月1日（火）～9月7日（日）

世田谷美術館分館

清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17
TEL. 03-3416-1202
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>



© 宮本和義

清川泰次の写真——その時代とまなざし
2025年4月1日（火）～9月7日（日）



世田谷美術館

〒157-0075
東京都世田谷区砧公園1-2
TEL. 03-3415-6011（代表）
<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

同時開催展

企画展

横尾忠則 連画の河
野町和嘉——人間の大地
ミュージアムコレクションⅢ
1980年代のイギリス美術——展覧会の記憶とともに
ミュージアムコレクションⅠ
世田谷でインド
ミュージアムコレクションⅡ
もうひとつの物語——女性美術家たちの100年

4月26日（土）～6月22日（日）
7月5日（土）～8月31日（日）
1月25日（土）～4月6日（日）
4月19日（土）～7月13日（日）
7月26日（土）～11月3日（月・祝）

※ご入館に際しては感染症予防のため手指消毒にご協力ください。館内で十分な距離を保てない場合がありますので、他のお客様へのご配慮をお願いします。
※展覧会の会期および内容が、急遽変更や中止になる場合もございます。会期中の最新情報は美術館ウェブサイト等でお知らせします。